

◆◆◆半ドン◆◆◆

- 今日は土曜授業。いわゆる「半ドン」です。
この言葉はもしかしたら死語になっているかも、と思いながら書いています。
「語源由来辞典」に次のような説明があります。

「半」は「半分」の意味。「ドン」は「ドンタク」の略である。
「ドンタク」はオランダ語で「日曜日」「休日」を意味する「ゾンターク」に由来し、
「博多どんたく」の「どんたく」の由来でもある言葉で、明治時代から使われている。
土曜日は半日が休みなので半分のドンタクで「半ドン」と呼ばれるようになった。

半ドン＝土曜日のことです。「明日は半ドンやけん、昼からどこかにご飯食べに行こうか」なんて使っていました。

- 私が教師になった平成のはじめのころまでは学校も会社も「半ドン」が当たり前。休みは日曜祭日のみ。でも早く帰れる「半ドン」は子どものころも大人になってからも楽しみでした。
今日の「半ドン」の楽しみは「ほごしゃ先生」。
企画、準備していただいた郷原会長はじめPTA役員の皆さま、有難うございます。
「授業」を準備し、指導いただく保護者の皆さま、有難うございます。
魅力的な「授業」を11本も準備していただきました。
「ほごしゃ先生」のお話に目を輝かせながら聞き入る子、生き生きと動き、活動する子どもたちの姿に出合えること、楽しみにしています。



